

【埼玉薬品 株式会社】

磁場を利用した熱分解装置排ガス処理方法の改良

開発のねらい

「磁場を利用する事で、他の燃料、エネルギーを使用しない熱分解装置」

本体に付属する排ガス処理装置の改良・小型化により、メンテナンス回数・処理水量を削減するとともに、安定した熱分解により有機廃棄物の減容を目指し、新たな廃棄物処理の形態を生み出す事。

開発の概要

既存の処理装置では、不十分であった排ガスの処理及び頻繁に行われるメンテナンスが装置開発の信頼性・不安要素となっていた。

そのため排ガス処理装置の小型化と構造変更にて、効率化、メンテナンス性の向上を図るとともに、炉内温度・ガス濃度測定・分析により、より安定した熱分解が行われるものとした。

特長

- ◇有機廃棄物の熱分解減容処理が石油・ガス等の資源を一切使用せずに達成される事。
- ◇必要とされる電力は、最小限の空気供給・廃ガス処理すると同時に循環するために必要なブロワ（送風機）を運転するために必要な電気だけである。
- ◇1日当たり約5.6m³の有機廃棄物を1/250～1/300まで安定的に減容する事ができる。

用途

廃農作物および加工食品・廃材・プラスチック等を含む有機系家庭ごみ等、有機系廃棄物一般の熱分解・減容処理。

（これにより、産業廃棄物とみなされる多くの有機系廃棄物の処理費用が削減される）



熱分解装置外観



排ガス処理装置



ガス分析計

お問い合わせ先

【所在地】 〒337-0004 埼玉県さいたま市見沼区卸町1-43

【連絡先】 TEL 048-686-5221 FAX 048-686-3332 開発部 松島

<http://www.saitamayakuhin.co.jp/>

